

Windows 8 をサーバー機にする場合の注意点

Windows 8 をサーバー機として使用する場合は、以下の点に注意し、サーバー機を設定してください。

下記作業は必ず管理者に確認の上、行ってください。

■ 共有フォルダ (LETS.NT) のプロパティ設定

- ① 「LETS.NT」フォルダのプロパティ画面で「共有」タブを選び、「詳細な共有」ボタンをクリックします。

- ② 右の画面が表示されますので、「このフォルダを共有する」のチェックをONにします。

- ③ ②の画面で「アクセス許可」ボタンをクリックし、レッツエ事台帳を使用するグループまたはユーザーに対するアクセス許可の「フルコントロール」の「許可」のチェックをONにします。

上記2箇所のチェックボックスが未チェックの場合は、クライアントのインストールが失敗します。



■ ファイアウォールの設定

ファイアウォール機能が有効になっている場合、Windows ファイアウォールの設定の「ファイルとプリンタの共有」のチェックをONにしてください。

※右の設定画面へは [コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]の順に選択します。

アプリに Windows ファイアウォール経由の通信を許可する
許可されたアプリおよびポートを追加、変更、または削除するには、[設定の変更]をクリックします。



Windows 8 へインストールする場合の注意点

セキュリティの設定

Windowsデフォルトの設定ですと「ユーザーアカウント制御」のためネットワークドライブが認識されませんので、インストールができません。下記手順により「ユーザーアカウント制御」の設定を変更した後、「ネットワークドライブの割り当て」をしてください。又、プログラムのアップデートインストール時にも同様の設定が必要です。

■ 「ユーザーアカウント制御」の設定

- ① [コントロールパネル]→ [ユーザーアカウントとファミリー セーフティ]をクリックします。



- ② 「ユーザーアカウント」をクリックします。



- ③ 右の画面が表示されるので、「ユーザーアカウント制御設定の変更」をクリックします。



- ④ スライダーを一番下まで下げ、「以下の場合でも通知しない」を選び、[OK]ボタンをクリックします。



- ⑤ 再起動を促すメッセージが表示されるので再起動を行ってください。

インストール終了後は、設定を必ず元に戻してください。

■ ネットワークドライブの割り当て

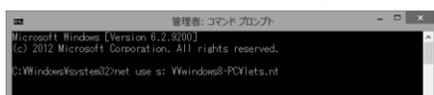
Windows 8 ではレッツエ事業台帳のインストール時、管理者とログインしているユーザー両方に対してネットワークドライブの割り当てをする必要があります。下記手順より「ネットワークドライブの割り当て」を行なってください。

※当作業は手順に従い、必ず管理者から割り当てしてください。

- ① [すべてのアプリ]→ [コマンドプロンプト]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。



- ② 「管理者：コマンドプロンプト」が表示されたら、「net use s: ¥¥サーバー名¥lets.nt」と入力し、Enterを押します。



- ③ [すべてのアプリ]をもう一度開き、ログインしているユーザーで[コマンドプロンプト]を実行します。



- ④ ②と同様に、「net use s: ¥¥サーバー名¥lets.nt」と入力し、Enterを押します。

- ⑤ [コンピュータ]を開き、ネットワークドライブがあることを確認します。



- ⑥ 本マニュアルP.7「インストール作業手順」に沿ってインストールを進めてください。